

SFE 2

消極給糸装置：最先端の技術と機能をコンパクトに集約



消極給糸装置SFE 2は編機への給糸装置であり、糸消費量が規則的な場合と不規則な場合に適しています。

工具なしで調整可能な入口テンショナーはモジュール構造になっており、装置の取り付け状況が異なっても操作の流れは一定に保たれます。

直立型ポビン本体の回転方向は、加工する糸（S撚りまたはZ撚り）に応じて調整することができます。糸量は、新開発の光学式・機械式センサーによって制御されます。

ひと回りしているLED带状ライトはモダンなデザインになっており、それを見ればその都度の動作状態を把握することができます。

給糸テンションは、手が届きやすいところにある回転つまみを回して給糸口で無段階で調整可能です。この装置は3x42 V ACで動作します。

お客様のメリット

- コンパクトな構造
- モジュール型の旋回式入口テンショナー
- ポビン本体の回転方向が調整可能（S撚りおよびZ撚り糸の加工）
- 光学式・機械式センサーで糸残量を監視
- どの方向からも見えるLED带状ライトが装置の動作状態を表示
- 給糸テンションの無段階調整を可能にする最新の渦巻きばねテンショナー



▶ SFE 2

SFE 2のコンポーネント

糸テンションの簡単な調整

糸テンションの調整に使用する調整つまみには、よく見える印が付いています。

簡単に交換可能な給糸テンショナー

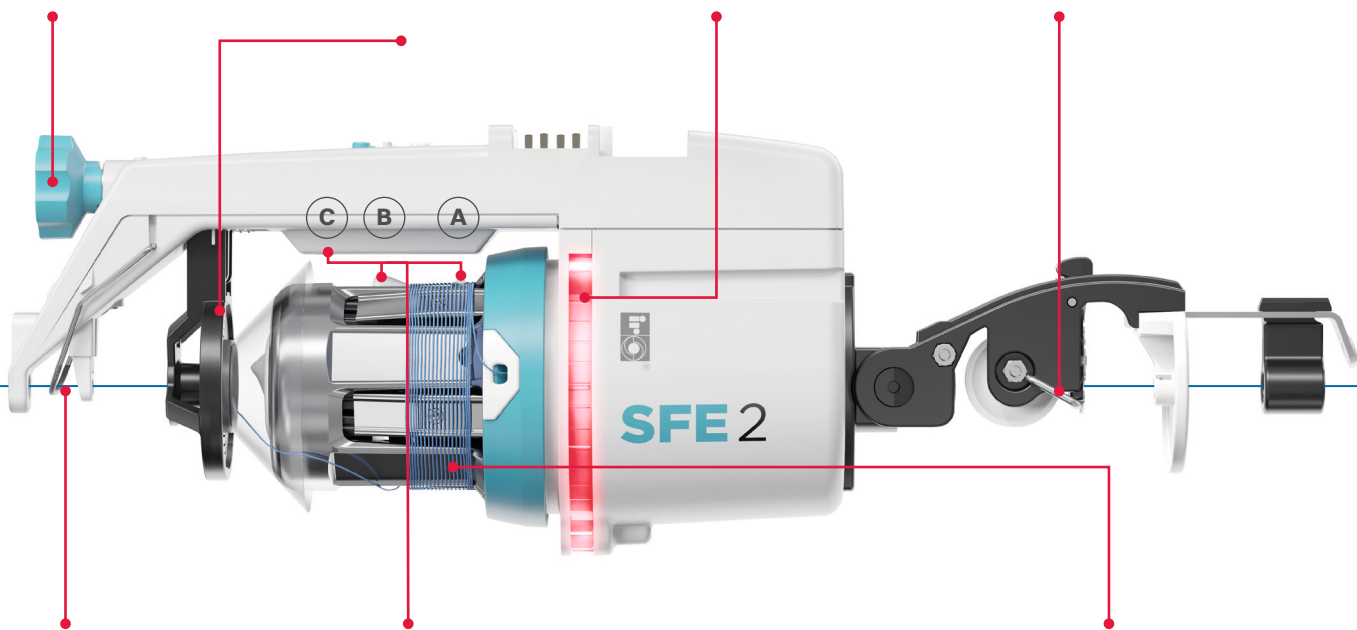
給糸領域は旋回可能な構造になっており、渦巻きばねテンショナーの交換や清掃を簡単に行うことができます。

ひと回りしている帯状ライト

どの方向からもよく見える帯状ライトが装置の動作状態を表示。

入口テンショナー

テンショナーの旋回領域は特殊な形状になっており、取り付け位置に関係なく簡単に糸を通すことができます。



機械式ストップモーション

SFE 2と編機の間で糸切れが発生した際に編機を停止します。

センサー

センサーA (機械式) は給糸を制御します (装置の前で糸切れが発生した場合は停止)。センサーB (機械式) は充填レベル量を制御します。

センサーC (光学式) は糸消費量を計算し、モーター速度を制御します (一定の充填量)。

ボビン本体 / S/Z切替

固定式ボビン本体。回転方向をSとZに設定することが可能。

仕様

電源電圧:	3x42 V AC
電流:	0.44 A
平均出力:	25 VA
糸テンション:	1.0 cN ~ 10 cN、加工する糸によって異なる
糸スベクトル:	20 ~ 500 dtex
最大給糸量:	600 m/min
重量:	1.2 kg

ADVANCED KNITTING TECHNOLOGY

MEMMINGER-IRO GMBH
Jakob-Mutz-Straße 7 | 72280 Dornstetten-Germany
Tel. +49 7443 281-0 | info@memminger-iro.de
www.memminger-iro.de

